

別表十八の二付表一 「最初の連結事業年度における連結予定申告額の計算に関する明細書」

1 この明細書の用途

この明細書は、連結親法人（普通法人に限ります。）が最初の連結事業年度において連結中間申告をする場合に使用します。

2 各欄の記載要領

欄	記 載 要 領	注 意 事 項
「直前の事業年度又は連結事業年度の確定法人税額又は連結法人税個別帰属支払額1」	連結法人若しくは適格合併により設立された連結親法人に係る被合併法人（以下「連結法人等」といいます。）の直前の事業年度の法人税額（連結法人等の当該直前の事業年度の別表一（一）「13」の金額から「5」、「7」及び「10」の外書の金額の合計額を控除した金額）又は連結法人等の直前の連結事業年度の調整後連結法人税個別帰属支払額を記載します。 （注）調整後連結法人税個別帰属支払額とは、「各連結事業年度の連結法人税の個別帰属額の届出書—連結親法人が普通法人（特定の医療法人を除く。）である連結法人の分」の「12」の金額から「5」、「7」及び「10」の外書の金額の合計額を控除した金額となります。	

3 根拠条文 法81の19、規則37の8